

総務厚生常任委員会

地域生活環境の安全性を確保

3月9日に委員会が開催され「白鷹町空家等対策計画の策定」について説明を受けた。

年々増え続ける空き家の対策は差し迫る課題

【計画の趣旨】

町民の安全を守り、安心した生活環境を確保するため「計画」を作り、対策の実施方針を示すもの。

質疑

解体補助の周知は

委員 解体補助について所有者への周知は。

当局 所有者や相続人の納税通知書にチラシを同封している。

また、町報やホームページに情報を掲載していく。



空き家管理サービスの内容は

委員 サービスの内容と料金は。

当局 建物内外の点検と確認や、通気換気・郵便等の転送などで、月額5千円と1万円コースを設定し、除雪やシロアリ対策などはオプションで提供する。

危険空き家に対し当局の指導を

委員 今後、さらに危険空き家が増える可能性もあり、当局での指導を望む。

当局 所有者・管理者等により適切な管理と除去等を行うのが原則。行政としては、危険空き家が発生しないように周知をはかっていく。

「なくてはならない病院」として

持続可能な病院経営を目指すための「新白鷹町立病院改革プラン」について説明を受けた。

現体制を維持しながら収益確保はなるのか

【新たな取り組み】

継続した医療を提供するため、29年度から町立病院と町内開業医で「白鷹町立病院への診療応援に関する協定書」を結ぶ。これにより町内の医療連携はかられ、地域包括ケアシステムの維持強化につなげていく。

質疑

開業医との連携は

委員 開業医とはどのような連携になるのか

当局 毎年、懇談会を開催。病院の不測の事態に備え、できる範囲で応援していただく了承を得た。



頼りになるスタッフ

ベッド数削減による影響は

委員 ベッド数が減った場合の影響は。また、医師や看護師の人員配置に問題はないか。

当局 現在70床あるが、実際の稼働は60床。10床減らしても問題ない。医師や看護師の配置も患者数から換算して問題ない。

診療費の未収金は

委員 未収金回収に積極的に取り組んで黒字にした他町の病院もある。状況は。

当局 未収金は600〜700万円。回収を先送りせず、29年度はしっかりと対策をとっていく。

その他  
○最上川の浸水想定区域見直し

○十王地区コミュニティセンター整備基本構想などについて説明があった。